

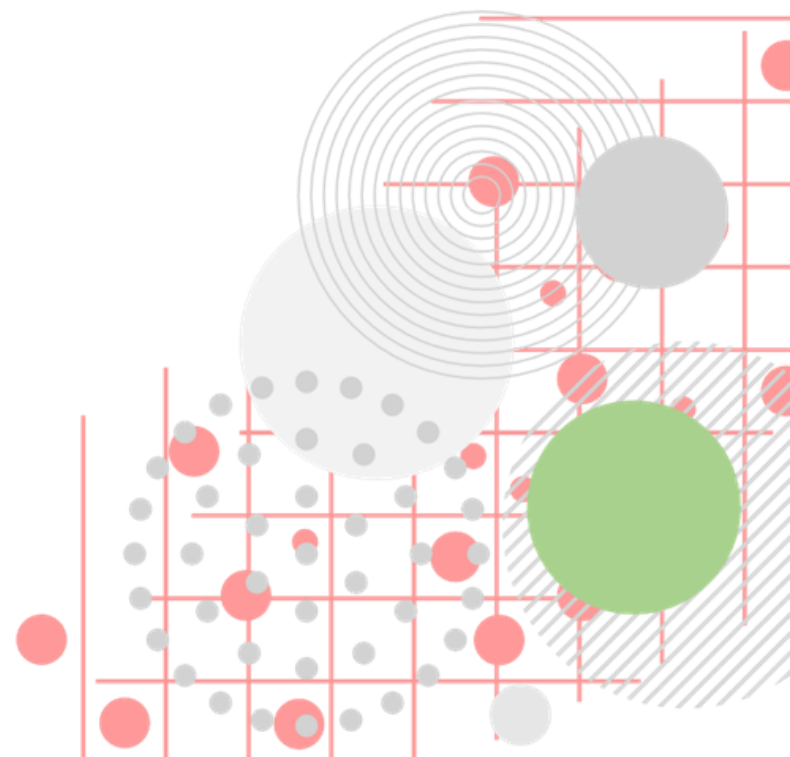
札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会

第8回 総会

【 本日の議題 】

- ・ 次期運営計画の策定について
- ・ 現行計画の進捗状況について

令和6年9月12日

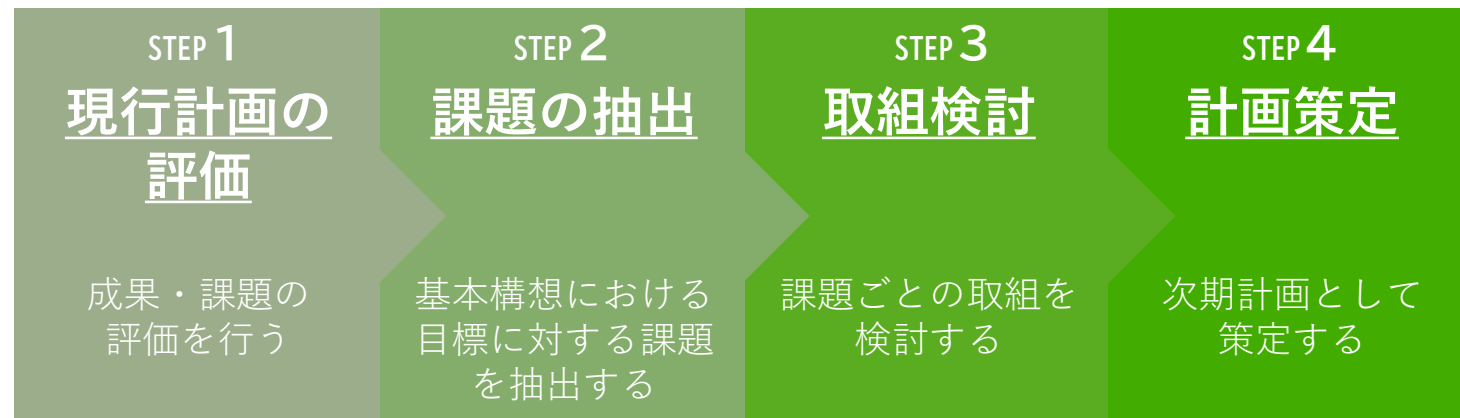


次期運営計画の策定について



次期運営計画の策定について – 策定までの流れ –

【次期運営計画策定の流れ】



【スケジュール】

年度	2024					2025												2026
月	4～6	7～9	10～12	1～3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～6	
工程		札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会 ●第8回(9/12)●第9回●第10回●第11回●第12回 現行計画の評価 課題抽出・取組検討 計画案の検討・確定 検討状況により回数は変動								庁内調整			●議会報告	パブコメ		★計画策定		

次期運営計画の策定について ― 現行計画の評価 ―

【評価の目的】

現在の運営計画に基づく各種取組の進捗状況を確認し、期待された成果が生み出されているかを評価した上で、その結果を踏まえて、次期運営計画を検討する。

【評価方法】

各基本目標に関連して設定した成果指標及び参考指標により評価を行う。

	①意識醸成	②火葬場関係	③墓地関係
成果指標	葬送に関する行動をしている市民の割合	火葬場入場前の 車内待ち時間の抑制	無縁墓及び無縁化疑いの 墓の割合
参考指標	・ Twitterフォロワー数 ・ ホームページ閲覧数	・ 里塚斎場の整備計画策定 ・ 友引開場の実施 ・ 予約システムの導入 ・ 山口斎場の次期運営手法の決定及び事業者の選定・契約 ・ さっぽろ連携中枢都市圏の各市町村との協議・情報共有の実施 ・ 料金体系の見直し	・ 改修方針の決定 ・ 運営手法の決定 ・ 新增設した合葬墓の運用 ・ 旧設墓地の管理料制度導入可否の決定 ・ 市営霊園の新管理料制度の決定 ・ 審議会において経営状況を調査審議した民間墓地・納骨堂の数

次期運営計画の策定について ― 現行計画の評価 ―

【基本目標①(市民の意識醸成関係)】

	指標	初期値	現在値	目標値	評価(※)
成果指標	葬送に関する行動をしている市民の割合	38.6% (133人／345人)	32.9% (158人／480人)	50.0%	C
参考指標	X(旧Twitter)フォロワー数	－	20件	500件	C
	ホームページ閲覧数	3,347件/年	11,436件/年	5,000件/年	A

※A:目標を概ね達成・達成見込 B:前進 C:横ばい、後退

- 葬送に関する行動をしている市民の割合について、初期値(R3)は任意の回答項目としたところ、未回答者が135人いて、それを除外して算出した。一方、現在値(R5)は回答必須項目としたため、算出条件が若干異なる。
- X(旧Twitter)のフォロワーは、ほぼ増えておらず目標値に遠く及ばない
- ホームページ閲覧数は、会議の開催結果や意識醸成コンテンツ(終活セミナー等)の掲載により、増加している

次期運営計画の策定について ― 現行計画の評価 ―

【基本目標②(多死社会に対応した火葬場関係)】

	指標	初期値	現在値	目標値	評価 (※)
成果指標	火葬場入場前の車内待ち時間の抑制	64分	30分以内	30分	A
参考指標	里塚斎場の整備計画策定	—	検討中	計画策定	B
	友引開場の実施	—	検討中	開場	C
	予約システムの導入	—	導入	導入	A
	山口斎場の次期運営手法の決定 及び事業者の選定・契約	—	事業者選定中	事業者選定・ 契約	B
	さっぽろ連携中枢都市圏の各市 町村との協議・情報共有の実施	—	実施	実施	A
	料金体系の見直し	—	検討中	新料金体系の 施行	B

※A:目標を概ね達成・達成見込 B:前進 C:横ばい、後退

- 里塚斎場の整備計画策定、友引開場の実施、料金体系の見直しは次期運営計画の期間であるR8年度に実施予定
- その他は計画期間内に達成または達成見込



次期運営計画の策定について ― 現行計画の評価 ―

【基本目標③(少子高齢社会に対応した墓地関係)】

	指標	初期値	現在値	目標値	評価(※)
成果指標	無縁墓及び無縁化疑いの墓の割合	21%	11.07%	13%	A
参考指標	改修方針の決定(市営霊園)	—	検討中	方針決定	B
	運営手法の決定(市営霊園)	—	検討中	決定	C
	新增設した合葬墓の運用	—	検討中	新しい運用の決定	B
	旧設墓地の管理料制度導入可否の決定	—	検討中	決定	C
	市営霊園の新管理料制度の決定	—	検討中	決定	B
	審議会において経営状況を調査審議した民間墓地・納骨堂の数	—	4件	4件	A

※A:目標を概ね達成・達成見込 B:前進 C:横ばい、後退

- 無縁墓対策は、目標を達成しているが、さらなる解消に向け取組を継続
- 新管理料制度はR8年度より実施予定
- 市営霊園の運営手法、旧設墓地の管理方法については次期計画期間においても継続して検討



次期運営計画の策定について ― 現行計画の評価 ―

【評価結果】

	指標数	評価		
		A	B	C
		目標を概ね 達成・達成見込	前進	横ばい・後退
市民の意識醸成	3	1	0	2
多死社会に 対応した火葬場	7	3	3	1
少子高齢社会 に対応した墓地	7	2	3	2
合計	17	6 (35.3%)	6 (35.3%)	5 (29.4%)

- 約7割の取組は評価A(達成または達成見込み)、B(前進)となっている
- 評価C(横ばい、後退)の項目は、次期運営計画に向けて議論していただきたい



次期運営計画の策定について ―次期計画の掲載内容―

【現在の運営計画の成果・課題】

- ・ 意識醸成：市民の関心も高く、セミナー等の参加者からも好評であり、今後も取組を継続することで成果指標等に反映されてくると考えられる。
- ・ 火葬場：いくつかの事業は実施時期を見直しており、引き続き、次期計画に記載する。
- ・ 墓 地：検討に時間を要するものがあり、次期計画でも取組を継続する。

【次期運営計画に掲載する項目(案)】

意識醸成

- ・ 葬送に対する市民ニーズの把握
- ・ 葬送に関する情報提供

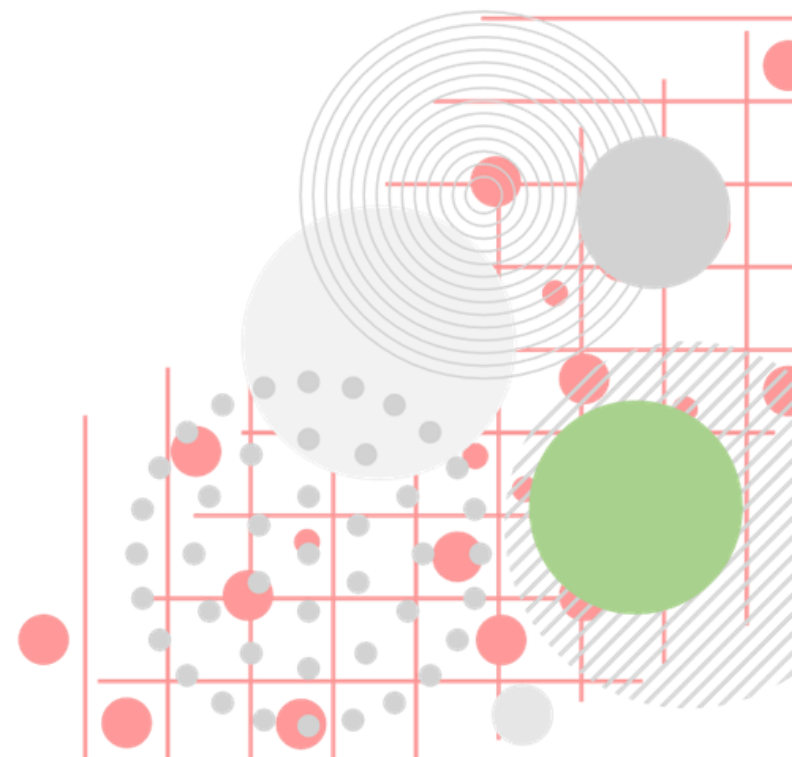
火葬場

- ・ 里塚斎場の再整備
- ・ 山口斎場の大規模改修

墓地

- ・ 新合葬墓の運用
- ・ 民間墓地・納骨堂に対する指導等
- ・ 無縁墓対応
- ・ 市営霊園の改修・運営手法
- ・ 旧設墓地の管理方法

現行計画の進捗状況について



意識醸成の取組について

【終活ワークショップ】

<背景>

これまでの終活行動に関する意識調査において、**終活について関心はあるものの実際に行動をしたことはない人も多い**という実態が見えてきた。

<目的>

実際に終活に取り組もうとする市民の声を収集し、**終活に取り組もうと考える市民の行動を支える情報提供のあり方や行政に期待されている役割を検討する。**

<開催日時等>

R6.9.6～R6.11.19に、各区民センターにて開催(各区1回ずつ)。定員は各回20人。

<内容>

テーマは「住まい」「葬儀・お墓」

- ・ ミニレクチャー
- ・ ディスカッション(6～7人のグループで)

参加者には、他の人の意見を聞くことで、終活を通して人生で大切にしたい価値観を確認するとともに、また、心配事を解決するために一歩踏み出す勇気を持つことを期待している。



意識醸成の取組について

【終活ワークショップ】

	中央区	白石区
開催日	9月6日(金)	9月10日(月)
参加者	14人(3グループ)	7人(2グループ)

- 参加者は40代～80代
40～50代は情報収集のため参加
70～80代は既に終活をしており、体験を語ってくれた
- 各グループの内容をファシリテーターがまとめて発表

～ 参加者アンケートより ～

- ・楽しいワークショップだった
- ・家族以外の方や違う年代の方の意見が聞けてよかった
- ・実行に移していきたいと思った
- ・各分野の専門家を集めてこのような会を開催したら有意義なものになりそう

このあと、東区(9/13)、
北区(9/30)、厚別区(10/4)、
…と順次開催予定！



火葬場の取組みについて

【重点項目】

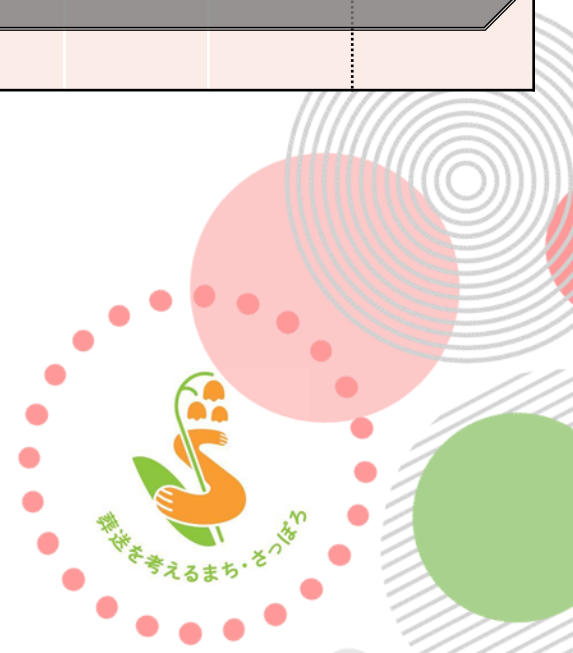
年度	2023			2024				2025				2026
月	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6
工程	イ) 火葬場の友引開場											
	実施方法検討 関係者との調整			予約システムの効果検証、 先行事例調査等の実施				事前調査等を踏まえた 制度設計、関係機関周知				本格 実施
工程	ウ) 火葬場の予約システムの導入											
	システム構築 試行実施			本格実施・効果検証								

○ 友引開場

- ・他都市事例や予約システムによる効果等の検証を予定
- ・葬祭事業者等へアンケート調査を実施予定
- ・人員配置、必要経費等を検討し関係先と調整

○ 予約システムの導入

- ・運用開始から半年が経過
- ・北海道葬祭業協同組合から要望書を受領
- ・より効率的な運用及びシステム改修に向けて関係先と調整



墓地の取組みについて

【重点項目】

年度	2023			2024			2025			2026			
月	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	
工程	ウ) 市営霊園及び旧設墓地の無縁墓への対応												
	無縁化予防の啓発・無縁墓の使用者特定(縁故者の特定)												
	無縁墓の対策手順を検討				手順精査・試行								運用
	キ) 市営霊園の新たな管理料制度												
	他都市調査 市民意見聴取		新管理料 制度の検討		条例案作成		条例 改正		体制構築・市民周知			新管理料 制度施行	

○ 無縁墓への対応

- ・戸籍調査等の継続実施
- ・無縁墓の認定、遺骨の改葬、墓石の扱いなど、無縁墓への対応に関する一連の手順の検討を進めつつ、当面の先行実施に向けて具体的な区画の検討などを行う

○ 市営霊園の新たな管理料制度(詳細は後段で報告)

- ・葬送に関するシンポジウム、市営霊園使用者意見交換会を実施
- ・議会議論、関係部局への説明・調整を行う



新たな料金制度の検討状況について

【市民議論実施概要】

1. ご意見募集期間

令和6年6月1日～7月19日

2. ご意見募集方法・件数

- 広報さっぽろ6月号・7月号による周知
- ホームページへのご意見募集ページ・ご意見受付フォームの掲載
- 郵送・FAX・Eメールによるご意見の受付

- 市営霊園使用者意見交換会の開催(場所:エルプラザホール)
6月20日(木)14:00～15:30【参加者17人】
6月23日(日)10:00～11:30【参加者3人】

- 葬送と終活を考えるシンポジウムの開催(場所:アスティホール)
7月6日(土)14:00～16:30【参加者118人】

- 葬送と終活を考えるパネル展の開催(場所:チ・カ・ホ 憩いの空間)
7月12日(金)10:00～19:00【来場者134人】
7月13日(土)10:00～17:00【来場者143人】

アンケート
回答数
161件

ご意見数

84件

18件

74件

総数
176件

※1件のご意見で火葬場と市営霊園両方に触れられている場合、内訳ではそれぞれ1件として計上しているため、総数と内訳の合計件数は一致しない。

火葬場使用料に関するご意見	84件
市営霊園管理料に関するご意見	61件
料金制度以外に関するご意見	50件



新たな料金制度の検討状況について

【火葬場使用料見直しの方向性】

以下の内容を情報共有しながら、市民議論を実施。

方向性

【参考】料金を徴収している
他都市の状況（政令市）

	現状（H18年度）		改定後（現段階の考え方）	金額範囲	
火葬料 （市民以外）	49,000円 （火葬原価を全額 受益者負担）	➡	人件費・物件費の上昇分を 反映	27,200円～ 100,000円	（19市）
火葬料 （市民）	無料		<u>一部負担</u> （ランニングコスト）	5,000円～ 20,000円	（17市）
特別控室 使用料	23,000円		<u>市民のみ減額の方</u>	3,000円～ 6,000円	（9市）

市民火葬料無料：新潟市、浜松市

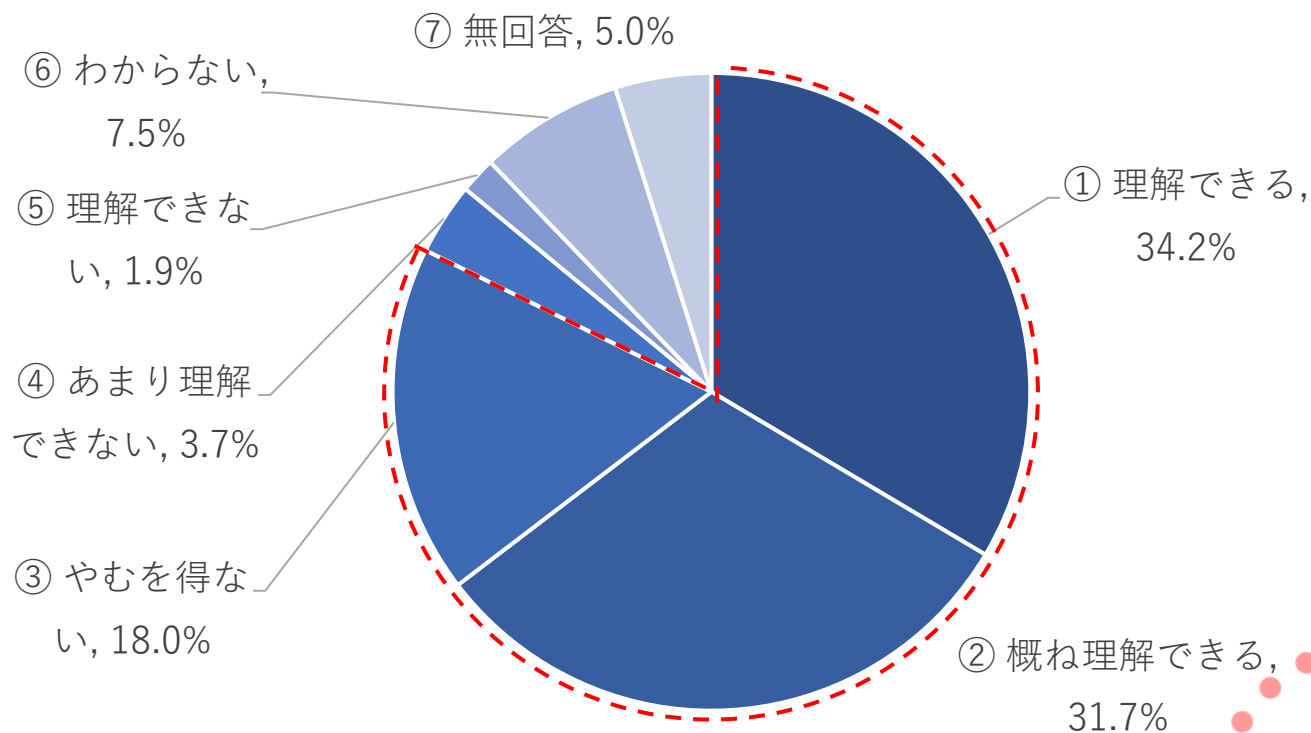
過度な負担とならないよう、他都市の状況や市民意見を踏まえながら検討

新たな料金制度の検討状況について

【火葬場使用料に関するアンケート結果・ご意見】

① シンポジウム・パネル展来場者アンケート結果

＜設問＞ 火葬場の現状と課題を踏まえた、新たな火葬料制度の考え方についてどう思いますか（n=161）



「やむを得ない」も含めると、肯定的な回答が8割超



新たな料金制度の検討状況について

【火葬場使用料に関するアンケート結果・ご意見】

② 自由意見（抜粋）【合計 84件】

＜料金関係＞

新料金制度の方向性	ご意見概要
料金水準（市民火葬料） ↓ ランニングコストの一部負担	- 安定した運営をする為にも火葬代を徴収するのは良い - 維持管理には多額の費用がかかる。控え室の使用が減っているなら火葬炉使用料を主とした料金体系にし将来に備えるべき - なぜ無料で無理してきたのか疑問 - 利用者が充分の負担をするのは当然。現在の当事者が負担をせず先送りし後世の若者世代になんでもつけ回すような風潮は改めるべき - ランニングコスト程度の利用者負担は仕方ない - 多死社会を向かえ仕方ないと思うが少しでも利用しやすい制度になるようお願い - 市民の火葬料が無料だと知らなかった。ある程度負担するのは理解できる - 物価高騰で生活が苦しい - 無駄な予算を見直すべき - 長年納税してきた人への謝礼とすべき - 安心して死にたい。放置されたくない - 人の死に関する火葬についてまでお金を取るのはやめてほしい - 他都市と比較して公正な料金に - 火葬炉と控室トータルで現状の控室使用料とあまり変わらないようにすべき - 納税状況や棺のサイズに応じた負担はどうか
料金水準（控室料金） ↓ 市民のみ減額	- 家族のくつろぎとコミュニケーションのためにも減額して使いやすい料金に - 利用したい人が使用するものなので増額しても良い - 利用人数に応じた負担はどうか
料金水準（市民以外の料金） ↓ 人件費・物件費上昇分の反映	- 市外はもう少し下げてあげてもよい - 市民以外の控室使用は2～3倍徴収 - 市民以外は10倍の料金設定に

新たな料金制度の検討状況について

【火葬場使用料に関するアンケート結果・ご意見】

② 自由意見（抜粋）【合計 84件】

＜その他、提案など＞

- 負担は仕方ないが、生活が苦しい方への配慮は必要
- 市民税を納付歴がある人には減免制度を設けるべき。市民になった月日が長い人と短い人が同額はおかしい
- サービス向上すべき（テナント、自販機など）
- 駐車料金やロビー使用料等の導入
- ロビー混雑緩和のためにも物理的改善が必要



新たな料金制度の検討状況について

【市営霊園新管理料制度の方向性】

以下の内容を情報共有しながら、市民議論を実施。

今後の方向性

市営霊園を計画的に改修し、安全快適に墓参できる環境を整えていきます。

このため、計画改修も含めた運営費用を使用者のみなさま※にご負担いただくことを検討しております。

※新規及び使用開始から20年以上経過した使用者

- 計画改修を含めた費用を使用者のみなさまに負担していただくことを想定しておりますが、極力過度な負担とならないよう、現在の清掃手数料に物件費や人件費高騰分を勘案して、新たな管理料の料金水準を検討します。
- なお、市営霊園は緑地としての役割を持つほか、使用者以外の方の散策の場となっていることなども考慮し、全額受益者負担とはしない方向で検討していきます。

現状の清掃手数料【年換算】
(1,290円/m²)

5,160円 (4m²区画) ~ 20,640円 (16m²区画)

平均約7,700円/区画

新たな料金制度の検討状況について

【市営霊園新管理料制度の方向性】

以下の内容を情報共有しながら、市民議論を実施。

項目	現状の清掃手数料制度	新料金制度（現段階の考え方）
料金水準	25,800円/m ² (20年分)	現在の清掃手数料を目安に検討
徴収頻度	一括徴収	1年ごと
徴収単位	m ² 単位	区画単位
許可取消に係る 滞納年数	—	3年程度
減免	減免事例なし	生活困窮者への対応の必要性を検討

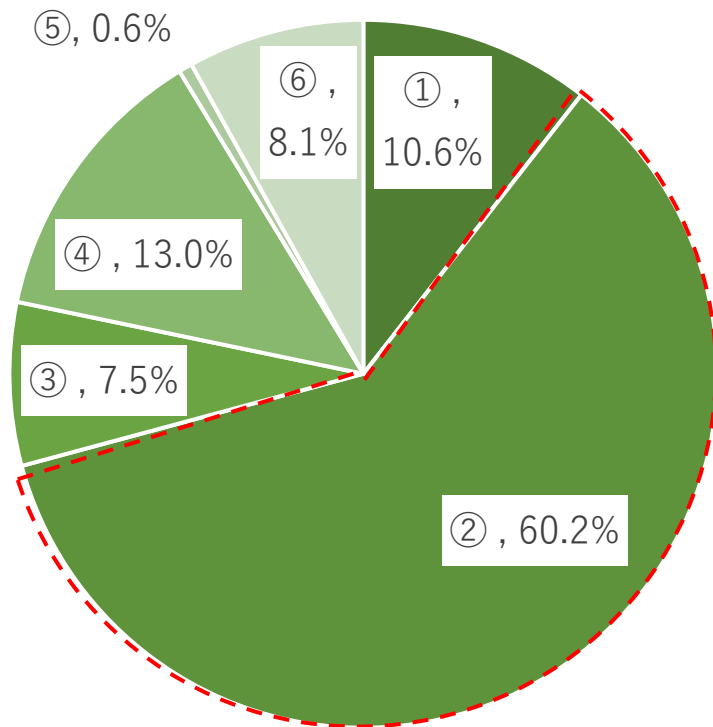


新たな料金制度の検討状況について

【市営霊園管理料に関するアンケート結果・ご意見】

① シンポジウム・パネル展来場者アンケート結果

＜設問＞ 市営霊園の維持管理費用を今後どうしていくべきと思いますか（n=161）



- ① 使用者（管理料等）が、維持管理費用を全額負担すべき
- ② 使用者（管理料等）と札幌市（税金等）で、維持管理費用を負担すべき
- ③ 札幌市（税金等）が、維持管理費用を負担すべき
- ④ わからない
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

「使用者と札幌市で、維持管理費用を負担すべき」が6割



新たな料金制度の検討状況について

【市営霊園管理料に関するアンケート結果・ご意見】

② 自由意見（抜粋）【合計 61件】

＜料金関係＞

新料金制度の方向性	ご意見概要
料金水準 ↓ 計画改修を含めた費用 現在の清掃手数料に物件費等の 高騰分を反映	・ 管理する以上、徴収するのが適当 ・ 今後も維持していくために必要なこと ・ 管理料は当然。そうでなければ不公平 ・ 年金生活・物価高騰で生活が苦しい ・ 管理料を取らなくてもよくなるような方策を検討すべき ・ 新規使用者の使用料・管理料を値上げすべき ・ 清掃手数料は永代と聞いていた ・ 墓を見捨てる可能性が増えるのではないか ・ 足りない分は負担するが公園の要素も考慮してほしい ・ 今後更なる値上げがないように。値上げのメリットあるとよい ・ 有料化するのであればそれに見合うサービスを ・ 使用者が負担する度合いを多くしていき、いずれは全額使用者負担とし、将来的には市営霊園をなくすべき
徴収頻度 ↓ 1年ごと	・ 時代のニーズに合わせて毎年の年払いはとてもよい ・ 毎年徴収はコストかかるのではないか ・ 1年でもよいが、墓は長期にわたって使用するものなので3年あるいは5年払いなどの支払い方法も可能にしてほしい ・ 一括払いすると割引することは考えられないか
徴収単位 ↓ 区画単位	・ 区画単位を希望 ・ 区画単位とする場合は納得できる理由を示して欲しい。共用部分の管理費用だとしても、広い面積の使用者は高い費用が当然
許可取消に係る滞納年数 ↓ 3年程度	・ 滞納は2年や3年を目処に共同墓地に移って頂く ・ 1年。猶予期間を長くすると、まじめに支払いしている人との不公平感が出るので、タイトにしてほしい

新たな料金制度の検討状況について

【市営霊園管理料に関するアンケート結果・ご意見】

② 自由意見（抜粋）【合計 61件】 ＜減免・その他＞

新料金制度の方向性	ご意見概要
減免	・ 低所得者になった場合、減額等で墓を残せるようにしてほしい ・ 一般料金と生活保護者等の料金に差を設けるのが良い ・ 減免制度はない方がいい。生活困窮者は、支払い猶予一年ほどにするか、相続を必須としてできないなら撤去
その他	・ 無縁墓は整理して再公募 ・ 霊園の使用期間自体を限定して一括払い ・ 墓じまいを検討しやすく。市の補助で合同墓に合葬する方向で ・ 墓じまいにかかる費用の前納制度も検討してほしい ・ 新規使用時に、相続人以外の連絡先も複数徴取した方がよい

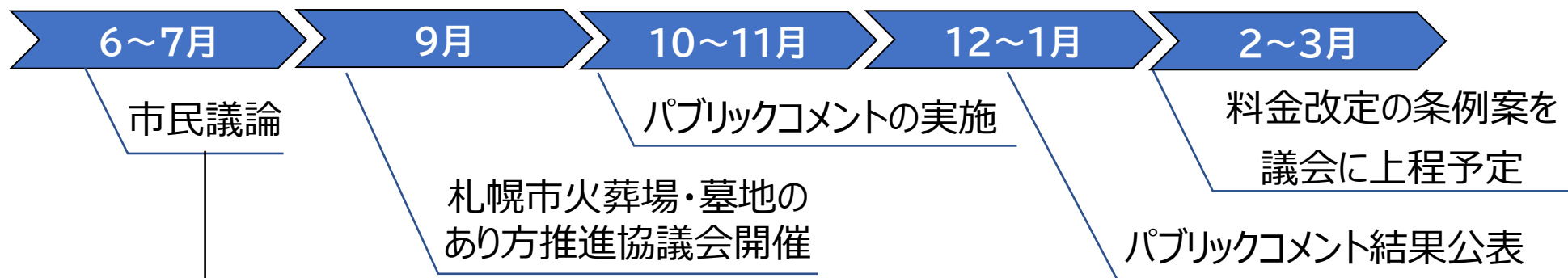


新たな料金制度の検討状況について

【検討スケジュール】

R6年度（2024年度）

R8年度（2026年度）から
新料金制度を施行することを目標



- 広報さっぽろ 6月号、7月号への記事の掲載
- 市営霊園使用者意見交換会の開催（6月20日（木）・23日（日））
- 葬送と終活を考えるシンポジウムの開催（7月6日（土））
- 葬送と終活を考えるパネル展の開催（7月12日（金）～13日（土））
- ホームページや郵送によるご意見募集（～7月19日（金））

次回総会の予定

【開催時期】

- ・ 令和7年2月予定

【予定議題】

- ・ 次期運営計画の策定について

